



2025 年 10 月 3 日

各 位

本社所在地 東京都渋谷区代々木 3-25-3
会 社 名 **レカム株式会社**
代 表 者 名 代表取締役社長 伊 藤 秀 博
(コード番号：3323 東証スタンダード市場)
問 合 せ 先 社長室 室長 須 永 悟 之
(TEL:03-4405-4567)
(URL: <https://www.recomm.co.jp>)

マレーシア政府視察団が当社を視察
～日本企業の DX 取り組みを講演～

当社は、本日、マレーシア公共事業庁 (JKR)、マレーシア通商産業省 (MITI) をはじめとする政府関係者 24 名のご来訪を受け、日本における中小企業の DX (デジタルトランスフォーメーション) 導入の事例や、当社グループの DX/カーボンニュートラル事業についてご紹介いたしました。

記

1. 訪問目的・背景

本訪問は、マレーシア政府の要請により、日本とマレーシア両国におけるデジタル化および産業高度化に資する交流を推進する取り組みの一環として実施されたものであります。当社はマレーシアにおいて、電気部品、照明、省エネ機器ならびに DX ソリューション事業を展開しており、これらの事業領域が現地政府の産業政策および環境対応方針と高い整合性を有することから、今回の交流が実現いたしました。

2. 当社からの説明内容

- ・ 当社グループの事業概要 (IT ソリューション、カーボンニュートラル、省エネ機器、DX 推進事例)
- ・ 社内実践事例 (RPA、Lark 活用、BPO での効率化)
- ・ 中小企業の DX 現状
- ・ 当社独自の AI 搭載 RPA 「ロボワーカー」 導入効果事例
- ・ マレーシア事業・SPACECOOL の紹介 (放射冷却素材で省エネ)

3. 交流・反応

出席者からは、日本における中小企業の DX 推進状況や、省エネソリューションに関する具体的な取り組みについて多くのご質問をいただきました。特に、RPA 導入による効率化効果や、人材育成に関連する補助金制度に対して高い関心が寄せられました。また、AI 教育研修やサブスクリプション型ソリューションの提供が、中小企業における DX 支援策として有効であるとの認識を共有する意見交換が行われました。



<当社代表・伊藤による説明会の様子>



<視察団代表者様より感謝状を拝受いたしました>

4. 今後の展望

当社は今回の訪問を契機として、マレーシアにおける DX 推進およびカーボンニュートラル事業における連携を一層強化し、両国の産業発展に資する取り組みを進めてまいります。今後も国際的な産学官連携を通じ、中小企業の生産性向上、環境負荷の低減ならびにデジタル社会の実現に継続的に寄与してまいります。

以 上